

令和5年10月6日

「100年フード」及び「食文化ミュージアム」の公募を開始します

文化庁では、我が国の多様な食文化の継承・振興への機運を醸成するため、地域で世代を超えて受け継がれてきた食文化を、100年続く食文化「100年フード」と名付け、文化庁とともに継承していくことを目指す取組を進めるとともに、食文化への学びや体験の提供に取り組む博物館、道の駅、食の体験・情報発信施設等に関する情報を一体的に発信する「食文化ミュージアム」の取組を実施します。

<100年フード>

1. 概要

我が国には、豊かな自然風土や歴史に根差した多様な食文化が存在しており、日本各地には、世代を超えて受け継がれ、長く地域で愛されてきたものが多く存在しています。

本事業では、そのような食文化を「100年フード」と名付け、文化庁とともに継承していく地方自治体、団体等を募集します。

これまでに201件の食文化が認定され、認定後は、各種メディアで認定団体の活動が数多く取り上げられたり、ロゴマーク入りの商品が販売されるなど、100年フードの取組は全国に広がりを見せています。

(参考) これまでに認定された日本各地の「100年フード」

<https://foodculture2021.go.jp/jirei/>

2. 募集期間

令和5年10月6日(金)～令和5年11月17日(金)

3. 認定基準(以下の全てを満たす食文化であること)

- ①地域の風土や歴史・風習の中で個性を活かしながら創意工夫され、育まれてきた地域特有の食文化
- ②地域において、世代を超えて受け継がれ、食されてきた食文化
- ③地域の誇りとして100年を超えて継承することを宣言する団体が存在する食文化

4. 応募部門

- ①伝統の１００年フード部門 ～江戸時代から続く郷土の料理～
- ②近代の１００年フード部門 ～明治・大正に生み出された食文化～
- ③未来の１００年フード部門 ～目指せ、１００年！～

5. 応募団体

地方自治体、協議会、食関連団体、観光協会・DMO、民間団体等

※個人からの応募は受け付けない。

※１団体１件の応募であること。

6. 応募方法

公式ウェブサイト内、応募フォームよりご応募ください。

(公式ウェブサイト) <https://foodculture2021.go.jp/hyakunenfood/>

7. 審査・認定

応募内容に関して、文化庁が設置する有識者委員会において審査を行い、認定します。

認定された「１００年フード」は、公式ウェブサイト等で発信します。

<食文化ミュージアム>

1. 概要

文化庁では、食文化に関する学びや体験の提供に取り組む博物館、道の駅、食の体験・情報発信施設等に関する情報を集約し、ウェブ上の仮想のミュージアム「食文化ミュージアム」で一体的に発信する取組を実施しています。

本事業では、食文化に関する学びや体験の提供に取り組んでいる全国の博物館、道の駅、食の体験・情報発信施設を募集します。

これまでに９８件の施設が「食文化ミュージアム」として認定され、各種メディアで認定施設の活動が取り上げられたり、ウェブサイト・SNS で積極的な情報発信が行われるなど、食文化ミュージアムの取組が広がっています。

(参考) これまでに認定された「食文化ミュージアム」

<https://foodculture2021.go.jp/foodculturemuseum/>

2. 募集期間

令和５年１０月６日（金）～ 令和５年１１月１７日（金）

3. 認定基準（①又は②のいずれかを満たし、かつ、③を満たす施設であること）

①地域に根差した食文化又は特定分野の食文化を体系的に発信する施設

②食文化への学びや体験を提供する施設

③一般に公開され、広く一般の利用が可能な施設

4. 主な対象施設

①博物館

②道の駅

③食の体験・情報発信施設 等

5. 応募方法

公式ウェブサイト内、応募フォームよりご応募ください。

（公式ウェブサイト）<https://foodculture2021.go.jp/about/foodculturemuseum/>

6. 審査・認定

応募内容に関して、文化庁が設置する有識者委員会において審査を行い、認定します。

認定された施設は、「食文化ミュージアム」サイトで発信します。

<100年フードに関するお問合せ先>

100年フード 事務局

メール：100nenfood@foodculture.jp

<食文化ミュージアムに関するお問合せ先>

食文化ミュージアム 事務局

メール：museum@foodculture.jp

<担当> 文化庁参事官（生活文化連携担当）

柴崎、三橋

東京都千代田区霞が関3-2-2

電話：03-5253-4111（内線4856）



全国にひろがる100年フード 今年も日本各地の食文化を募集します

文化庁は、地域で世代を超えて受け継がれてきた食文化を「100年フード」と名付け、文化庁とともに継承していく団体等を募集します。これまでに認定された団体の取組は各種メディアで数多く取り上げられ、100年フードの取組は全国に広がりを見せています。地域の食を100年続く食文化に。あなたの地域の「100年フード」を募集します！

応募期間

令和5年10月6日(金) >> 令和5年11月17日(金)

応募団体

全国の地方自治体、協議会、食関連団体、観光協会・DMO、民間団体等から広く募集します。

「100年フード」とは？ ※下記1~3をすべて満たすもの

- 1 地域の風土や歴史・風習の中で個性を活かしながら創意工夫され、育まれてきた地域特有の食文化
- 2 地域において、世代を超えて受け継がれ、食されてきた食文化
- 3 その食文化を、地域の誇りとして、100年を超えて継承することを宣言する団体が存在する食文化

現在**201**件の食文化を認定

応募方法

下記ウェブサイトの応募案内を確認の上、応募フォームから応募してください。

<https://foodculture2021.go.jp/hyakunenfood/>

「100年フード」で検索



※以下の情報もご覧いただけます。

これまでに認定された「100年フード」の紹介

よくある御質問とその回答

100年フードロゴマークの活用事例等

部門

応募の際は、下記より該当する部門を選択してください。※1は江戸時代以前から続く食文化も対象となります。

- 1 伝統の100年フード部門
～江戸時代から続く郷土の料理～
- 2 近代の100年フード部門
～明治・大正に生み出された食文化～
- 3 現代・未来の100年フード部門
～目指せ、100年！～

事業の大まかな流れは下記となります

応募書類の提出

公式ウェブサイトの応募フォームから申請してください。

審査・認定

文化庁が設置する有識者委員会において審査・認定します。

ロゴ・各種書類送付

「100年フード」のロゴ、認定書等をお送りします。



100年フードロゴの活用

100年フードロゴを、イベントやSNS、商品パッケージなどで活用してください。

文化庁の取組・情報発信

文化庁はイベント出展やスタンプラリーなどの取組を実施しています。積極的にご参加ください。

文化庁は、食文化に関する学びや体験の提供に取り組んでいる施設を、募集しています！



WEBの世界的アワード
「FWA OF THE DAY」を受賞！

文化庁は、食文化への学びや体験の提供に取り組む博物館、施設等に関する情報をウェブ上の仮想ミュージアム「食文化ミュージアム」で一体的に発信しています。

これまでに98件の施設が食文化ミュージアムとして認定され、認定後は各種メディアで認定施設の活動が取り上げられたり、ウェブサイト・SNSで積極的な情報発信が行われるなど、食文化ミュージアムの取組が広がっています。

3つの部屋(カテゴリー)で
各施設を紹介します



応募期間

令和5年

10/6(金)

▶11/17(金)

応募条件

※個人からの応募は対象外となります。

食文化ミュージアムへの掲載対象となる施設は、下記の1又は2を満たしており、かつ、一般公開され誰でも利用可能な施設とします。

- 1 地域に根差した食文化又は特定分野の食文化を体系的に発信する施設
- 2 食文化への学びや体験を提供する施設

<具体的には、以下のような施設が該当します。>

博物館

食文化に関する情報が収集・展示され、学びや体験の提供に取り組んでいる文化施設

道の駅

地域に根差した在来作物や郷土料理に関する情報を発信しており、実際に購入・飲食ができる道の駅

食の体験・ 情報発信施設

日本が誇る食の技やこだわりの味など、特色ある食文化に関する情報発信や学び・体験を提供している食の体験・情報発信施設

応募方法

下記ウェブサイトの応募案内を確認の上、応募フォームから応募してください。

<https://foodculture2021.go.jp/about/foodculturemuseum/>



※以下の情報もご覧いただけます。

これまでに認定された
「食文化ミュージアム」の紹介

よくある御質問とその回答

審査の視点

「食文化ミュージアム」で検索



事業の大まかな流れは下記となります。

1 応募書類の提出

公式ウェブサイトの応募フォームから申請してください。

2 審査・認定

文化庁が設置する有識者委員会において審査・認定します。

3 ロゴ・各種書類送付

「食文化ミュージアム」のロゴ、証明書等をお送りします。ウェブサイトや商品などでロゴマークの活用をお願いします。



4 食文化ミュージアムへの掲載

食文化ミュージアムサイトにおいて、認定された施設や食文化の紹介、イベント等の情報を掲載します。

5 継続的な情報発信

文化庁は、認定された食文化ミュージアムの情報を公式ウェブサイト等で発信します。

「食文化あふれる国・日本」プロジェクト

問い合わせ先

食文化ミュージアム 事務局（ロケーションリサーチ株式会社内） メール：museum@foodculture.jp

※問合せや相談につきましては、原則、電子メールでお寄せください。ただし、審査の内容に関する質問にはお答えできません。メールの問合せは3営業日以内に返信いたします。